

第8回 苫小牧市スポーツ推進審議会 次第

日時 平成29年4月26日(水) 18時から

場所 苫小牧市役所 5階(第2応接室)

司会 澤田室長

- 1 開会
- 2 委嘱状の交付
- 3 市長挨拶
- 4 委員及び職員自己紹介
- 5 会長・副会長の選出
- 6 議事
 - (1) 苫小牧市スポーツ推進審議会経過について・・・P 1
 - (2) 平成28年度スポーツ施策実施報告及び平成29年度スポーツ施策について・・・P 2～6
 - (3) 「つなごう スポーツ大作戦」苫小牧市スポーツ都市宣言50周年記念事業の実施報告について・・・P 7～10
 - (4) 今後のスケジュールについて・・・P 11
 - (5) 「苫小牧市スポーツ施策についての意見書」について・・・P 12
- 7 その他
- 8 閉会

(1) 苫小牧市スポーツ推進審議会の経過について

平成 26 年度	11月10日	第1回苫小牧市スポーツ推進審議会 ・苫小牧市スポーツ推進審議会条例、スポーツ基本法、スポーツ基本計画の概要について説明 ・スポーツ都市宣言、主なスポーツ関連施策、スポーツ施設の現状について説明 ・苫小牧市民の運動・スポーツ活動実態調査の実施について説明
	3月23日	第2回苫小牧市スポーツ推進審議会 ・苫小牧市民の運動・スポーツ活動実態調査の集計結果について報告 ・苫小牧市スポーツ推進計画の構成素案について審議
平成 27 年度	6月30日	第3回苫小牧市スポーツ推進審議会 ・＜第1章＞＜第2章＞の内容について審議
	9月30日	第4回苫小牧市スポーツ推進審議会 ・＜第3章＞＜第4章＞の内容について審議
	12月14日	苫小牧市スポーツ推進庁内検討委員会 ・計画の内容について検討
	12月22日	第5回苫小牧市スポーツ推進審議会 ・＜第5章＞＜資料編＞の内容について審議
	1月22日	苫小牧市教育委員会第1回定例委員会 ・計画（案）について審議
	2月19日	第6回苫小牧市スポーツ推進審議会 ・計画（案）全体について審議
	3月23日	苫小牧市スポーツ推進庁内検討委員会 ・具体的なスポーツ関連施策について協議
	3月31日	パブリックコメント実施
平成 28 年度	5月27日	苫小牧市教育委員会第6回定例委員会 ・計画（案）について決議
	5月30日	第7回苫小牧市スポーツ推進審議会 ・計画（案）について最終審議
	6月	市議会常任委員会に報告
	9月	苫小牧市スポーツ推進計画 発行

苫小牧市スポーツ推進計画施策一覧（平成28年度実績及び平成29年度予定）

※事業の評価 A（順調に実施）B（概ね順調に実施）C（やや遅れて実施）D（未実施）

番号	施策名	担当部課	目標	方針	内容	平成28年度			平成29年度	
						平成28年度実績	事業評価	備考	平成29年度予定	備考
1	中学駅伝苫小牧大会の開催	総合政策部 スポーツ推進室	1 市民すべてがスポーツを楽しみましょう	1-1 ライフステージや適性に応じたスポーツ活動を推進	中学生のスポーツによる健全育成とスポーツの振興により、心と体の鍛錬と一本のタスキに仲間との連帯感や責任感を養うことを目的とする。	7月18日（月）海の日実施 場所：緑ヶ丘総合運動公園 市内内外男女60チーム383人参加	A （順調に実施）	・スポーツ推進委員も協力	市内内外男女約50チーム、200名を予定し、7月の海の日に開催予定。	・スポーツ推進委員も協力
2	スポーツ施設利用・スポーツイベント参加者へのポイントの付与	総合政策部 スポーツ推進室	1 市民すべてがスポーツを楽しみましょう	1-1 ライフステージや適性に応じたスポーツ活動を推進	市のスポーツ施設の利用者や市が行うスポーツイベントへの参加者に対して商業施設や公共施設で利用できるポイントを付与し、スポーツへの参加を促進することを目的とする。	8月よりとまチョップポイント事業開始 ・スポーツ13施設 166, 563回ポイント付与 ・対象28事業 11, 266人にポイント付与	B （概ね順調に実施）		・スポーツ施設13施設に来店ポイント付与 ・ポイント対象付与事業 9事業	
3	70歳以上の方へのスポーツ施設無料利用券発行	総合政策部 スポーツ推進室	1 市民すべてがスポーツを楽しみましょう	1-1 ライフステージや適性に応じたスポーツ活動を推進	市内に住所がある70歳以上の方にスポーツ施設無料利用券を発行し、健康づくりや体力づくりだけではなく生きがいづくりを目的とする。	11施設で計305枚発行済み	B （概ね順調に実施）		継続して各スポーツ施設で発行する。	
4	市民スポーツ祭の開催	総合政策部 スポーツ推進室	1 市民すべてがスポーツを楽しみましょう	1-1 ライフステージや適性に応じたスポーツ活動を推進	スポーツの面白さと併せて健康な体づくりを目的とする。	・ミニバレーボール大会 9月24日実施 参加者54人 ・フアカーリング大会 9月3日実施 参加者38人 ・スポンジテニス大会 9月15日実施 参加者71人	B （概ね順調に実施）	・スポーツ推進委員も協力	現3事業を平成29年度より苫小牧市体育協会へ移管	・スポーツ推進委員も協力
5	ウォーキング事業の開催	総合政策部 スポーツ推進室	1 市民すべてがスポーツを楽しみましょう	1-1 ライフステージや適性に応じたスポーツ活動を推進	自然あふれるウォーキングコースを歩くことで美しい街並みを再確認し、郷土愛を深めながら健康づくりと体力づくりを目的とする。 ・1～4回目 約4km ・5回目 約4km、約10km	6月・7月・8月・9月・10月 計5回実施 10月最終は健康支援課とコラボし、ノルディックウォーキングも実施 延参加人数566人	A （順調に実施）	・ウォーキングコースになっている「木もれ日の道」、「金太郎の池周辺」がすこやかロードに認定されている（担当：健康支援課） ・スポーツ推進委員も協力	6月から10月の月1回毎回コースを変えて開催予定。	・スポーツ推進委員も協力
6	スポーツ学校開放事業	教育部 生涯学習課	1 市民すべてがスポーツを楽しみましょう	1-1 ライフステージや適性に応じたスポーツ活動を推進	小・中学校の体育館やグラウンドを市民のスポーツ活動に開放し、青少年の健全育成と地域住民のスポーツ振興を図ることを目的とする。	25校の小中学校の開放により、22種目367団体、年間延べ240, 115人が利用	A （順調に実施）		継続して市内の小中学校23校、中学校2校を開放	
7	保健センターを利用した運動教室・講座	健康こども部 健康支援課	1 市民すべてがスポーツを楽しみましょう	1-1 ライフステージや適性に応じたスポーツ活動を推進	教室・講座でのグループダイナミクスを利用した集団指導と個々の身体・生活状況にあわせた個別指導を組み合わせた複合的なアプローチを図る。	スマートチャレンジ108名、はじめてさんの運動教室49名、骨・コツ教室28名、65歳以上の筋トレ教室137名が参加。その他トレーニングルームも743名が利用。 （すべて述べ人数）	A （順調に実施）		【保健センター事業】 ・燃やそう体脂肪！ステップエクササイズ ・簡単体験！ストレッチボール ・65歳から始める貯筋 体力UP教室 ・スマートチャレンジ（セミナー） ・骨・コツ教室 ・体力・体組成測定会 ・マシンから始める！からだづくり ・生活習慣病予防教室	
8	健康に関するイベント実施	健康こども部 健康支援課	1 市民すべてがスポーツを楽しみましょう	1-1 ライフステージや適性に応じたスポーツ活動を推進	イベント内で各種測定を実施し、自分自身の身体の状態を把握することで、健康意識の向上や食習慣の見直しを目的とする。また、運動習慣の向上の意識付けを旨とするような各種プログラムも検討中。	外部講師によるウォーキング指導や講演会、各種測定、ロコモチャレンジ等を実施。720名が参加。	A （順調に実施）	・国保課、高齢者医療課も協力	「健康フェスタとまこまい2017」と題して、9月下旬に実施予定。	・国保課、高齢者医療課も協力
9	児童の健全育成	健康こども部 青少年課	1 市民すべてがスポーツを楽しみましょう	1-1 ライフステージや適性に応じたスポーツ活動を推進	市内各児童センターにおいて、健全な遊びを通して児童の運動に親しむ習慣の形成及び体力の増進を図り、また、それらの活動を通じて児童センターの利用促進を図る。	児童センター来館者数：119, 840人 前年より3, 224名増	A （順調に実施）		様々なボール遊びなどの運動を実施。活動内容や行事案内を、市のホームページや広報に掲載し、近隣の学校へ毎月「センター便り」を配布する。	
10 （新）	こども議会ウォーキング事業	健康こども部 青少年課	1 市民すべてがスポーツを楽しみましょう	1-1 ライフステージや適性に応じたスポーツ活動を推進	平成28年度こども議会で提案のあったウォーキング事業について意見をまとめ、子ども目線でのウォーキング事業を開催				参加人数等含め詳細はこども会議参加者で集まってもらい決定。 9月23日開催を目指す。	

苫小牧市スポーツ推進計画施策一覧（平成28年度実績及び平成29年度予定）

※事業の評価 A（順調に実施）B（概ね順調に実施）C（やや遅れて実施）D（未実施）

番号	施策名	担当部課	目標	方針	内容	平成28年度			平成29年度	
						平成28年度実績	事業評価	備考	平成29年度予定	備考
11	苫小牧市老人クラブ連合会への補助	福祉部 総合福祉課	1 市民すべてがスポーツを楽しむよう	1-1 ライフステージや適正に応じたスポーツ活動を推進	苫小牧市老人クラブ連合会主催の「老人オリンピック」に係る費用の一部を助成	7月6日(水)実施 場所：苫小牧市総合体育館 48団体参加	A (順調に実施)	・スポーツ推進委員も協力	市内の単位老人クラブが所属する苫小牧市老人クラブ連合会が主催し、例年7月に開催	・スポーツ推進委員も協力
12 (新)	第55回北海道障がい者スポーツ大会	福祉部 障がい福祉課	1 市民すべてがスポーツを楽しむよう	1-1 ライフステージや適正に応じたスポーツ活動を推進	障がいのある方が、競技等を通じ、スポーツの楽しさを体験するとともに、障がいに対する道民の理解を深め、障がい者の社会参加の促進に寄与することを目的として開催する。				7月9日に東胆振1市4町で実施。苫小牧市では、陸上競技と車いすバスケットボールを開催する。選手・役員等合わせて約1,200人の参加を見込んでいる。	毎年、道内で持ち回りで開催している。
13	フライングディスク教室	福祉部 心身障害者福祉センター	1 市民すべてがスポーツを楽しむよう	1-1 ライフステージや適性に応じたスポーツ活動を推進	講師を招きフライングディスクの指導をしていただく。来年度については障がい者と健常者がともに競技に親しみ楽しめる形にした。	6月18日(土)実施 場所：心身障害者福祉センター体育館 障がい者、支援者、一般参加者39人参加	A (順調に実施)	「つなごうスポーツ大作戦」コラボ事業	6月17日(土)10:00~12:00実施予定。障がい者だけでなく健常者も参加を募る。50人程度の参加を見込む。福祉ふれあいセンター体育館	・スポーツ推進室とも連携
14	ポッチャ教室	福祉部 心身障害者福祉センター	1 市民すべてがスポーツを楽しむよう	1-1 ライフステージや適性に応じたスポーツ活動を推進	講師を招きポッチャの指導をしていただく。来年度については障がい者と健常者がともに競技に親しみ楽しめる形にした。	7月23日(土)実施 場所：心身障害者福祉センター体育館 障がい者、支援者、一般参加者39人参加	A (順調に実施)	「つなごうスポーツ大作戦」コラボ事業	7月22日(土)10:00~12:00実施予定。障がい者だけでなく健常者も参加を募る。40人程度の参加を見込む。福祉ふれあいセンター体育館	・スポーツ推進室とも連携
15	車椅子バスケット教室	福祉部 心身障害者福祉センター	1 市民すべてがスポーツを楽しむよう	1-1 ライフステージや適性に応じたスポーツ活動を推進	講師を招き車椅子バスケットボールの指導をしていただく。来年度については障がい者と健常者がともに競技に親しみ楽しめる形にした。	1月21日(土)実施 場所：福祉ふれあいセンター体育館 障がい者、支援者、一般参加者47人参加	A (順調に実施)	「つなごうスポーツ大作戦」コラボ事業	11月11日(土)10:00~12:00実施予定。障がい者だけでなく健常者も参加を募る。30人程度の参加を見込む。福祉ふれあいセンター体育館	・スポーツ推進室とも連携
16	アイススレッジホッケー教室	福祉部 心身障害者福祉センター	1 市民すべてがスポーツを楽しむよう	1-1 ライフステージや適性に応じたスポーツ活動を推進	講師を招きアイススレッジホッケーの指導をしていただく。来年度については障がい者と健常者がともに競技に親しみ楽しめる形にした。	1月21日(土)実施 場所：新とぎわスケートセンター 障がい者、支援者、一般参加者27人参加	A (順調に実施)	「つなごうスポーツ大作戦」コラボ事業	12月2日(土)10:00~12:00実施予定。障がい者だけでなく健常者も参加を募る。50人程度の参加を見込む。新とぎわスケートセンター	・スポーツ推進室とも連携
17	スポーツイベントの情報発信	総合政策部 スポーツ推進室	1 市民すべてがスポーツを楽しむよう	1-2 スポーツを観る人・支える人の参加拡大	各スポーツ施設でのイベント情報を、市ホームページや広報とまこまい等で広く発信し、スポーツへの参加を推進する。	各事業についてはホームページ、広報とまこまい、フェイスブックなどで周知。市取組みである「ウォッチレット」も多く活用。	B (概ね順調に実施)	・秘書広報課と連携	各スポーツ施設の各種教室やイベント情報をリアルタイムで発信する。	・秘書広報課と連携
18	プロスポーツの試合開催	総合政策部 スポーツ推進室	1 市民すべてがスポーツを楽しむよう	1-2 スポーツを観る人・支える人の参加拡大	プロスポーツの試合開催を誘致し、スポーツを観る機会をつくる。	・8月14日 イースタンリーグ公式戦 ・8月20日 大相撲苫小牧場所 ・9月~3月 アイスホッケーアジアリーグ ・10月22日、23日 女子バスケットWリーグ開催 ・11月20日 フットサルFリーグ ・11月27日~12月3日 IPCアイススレッジホッケー【世界選手権Bプール】 ・2月9日~12日 女子IHP平昌五輪最終予選	A (順調に実施)		<予定> ・アイスホッケーアジアリーグ【9月~3月】 ・フットサルFリーグ【11月】	
19 (新)	宝くじスポーツフェア ドリーム・ベースボールの開催	総合政策部 スポーツ推進室	1 市民すべてがスポーツを楽しむよう	1-2 スポーツを観る人・支える人の参加拡大	(一財)自治総合センター宝くじ社会貢献広報事業。元プロ野球選手を中心としたメンバーによる親善試合並びに指導者クリニック、野球教室を実施する。全国各地で開催し、地域社会の健全な発展と住民福祉の向上に寄与することを目的としている。				<9月30日> ・指導者クリニック <10月1日> ・野球教室 ・ふれあい講演会 ・アトラクション ・親善試合(ドリームゲーム)等	
20	スポーツ推進委員会活動	総合政策部 スポーツ推進室	1 市民すべてがスポーツを楽しむよう	1-2 スポーツを観る人・支える人の参加拡大	地域スポーツの普及・推進を図ることを目的に、各種会議への参加や市主催・共催事業への協力援助を行う。	定例会議2回、各専門部会2回実施。 10月27日、28日に北海道スポーツ推進委員研究協議会を苫小牧市で開催し、全道より約500人が参加。 各スポーツイベントにも協力。	A (順調に実施)		・定例会議2回、専門部会2回実施。 ・北海道スポーツ推進委員研究協議会【旭川市】 ・胆振管内スポーツ推進委員研修会【白老町】	
21	スポーツ指導者の育成	総合政策部 スポーツ推進室	1 市民すべてがスポーツを楽しむよう	1-2 スポーツを観る人・支える人の参加拡大	苫小牧市体育協会が実施する、苫小牧スポーツリーダーバンク制度。指導者養成講習会を受講したスポーツ指導者を登録し、各種サークルやスポーツ団体に派遣する。	指導者養成講習会は未実施となったが、全指導者を対象とした「競技力養成講習」を実施した。派遣実績は水泳1回、スケート競技数回となっている。	C (やや遅れて実施)		指導者養成講習会や研修会の開催及びスポーツリーダーバンク登録指導者の派遣を行う。	

苫小牧市スポーツ推進計画施策一覧（平成28年度実績及び平成29年度予定）

※事業の評価 A（順調に実施）B（概ね順調に実施）C（やや遅れて実施）D（未実施）

番号	施策名	担当部課	目標	方針	内容	平成28年度			平成29年度	
						平成28年度実績	事業評価	備考	平成29年度予定	備考
22	スポーツボランティアの育成	総合政策部 スポーツ推進室	1 市民すべてがスポーツを楽しむまじょう	1-2 スポーツを観る人・支える人の参加拡大	各種スポーツイベントやスポーツ大会等を支えるスポーツボランティアを募り、スポーツを通じて地域の活性化やスポーツ振興を図る。	苫小牧市体育協会がスポーツボランティアの募集を通年で行い、とまこまいマラソン大会や各種スポーツイベントで協力。	B (概ね順調に実施)		苫小牧市体育協会がスポーツボランティアの募集を通年で行い、とまこまいマラソン大会や各種スポーツイベントへの協力を求める。	
23	スポーツに関する情報発信	教育部 生涯学習課	1 市民すべてがスポーツを楽しむまじょう	1-2 スポーツを観る人・支える人の参加拡大	年に1回サークルガイドを作成し、スポーツ関係団体一覧を公共施設やHP等で情報提供し、スポーツへの参加を推進する。	6月末、サークルガイドを市内公共施設に冊子を配布（100部）。併せて、HPに掲載すると共に、パンフレット（文科系・運動系各400部）を作成。	A (順調に実施)		サークルガイドを作成	
24	スポーツに関する情報発信	教育部 生涯学習課	1 市民すべてがスポーツを楽しむまじょう	1-2 スポーツを観る人・支える人の参加拡大	子どものための行事案内を毎月作成し、市内小・中学校、保育園、幼稚園、公共施設に配布し、スポーツへの参加を推進する。	毎月、市内各施設から掲載情報の提供を受け、行事案内作成。市内幼稚園、保育園、小・中学校及び公共施設に配付。1,400部発行。	A (順調に実施)		子どものための行事案内作成	
25	アスリートフードマイスター養成支援	産業経済部 観光振興課	1 市民すべてがスポーツを楽しむまじょう	1-2 スポーツを観る人・支える人の参加拡大	スポーツ大会や合宿誘致の推進に向けた環境整備の一環として、身体づくりをサポートするアスリートフードマイスターの養成を支援する。	7月30日（土）講習会実施 場所：COCOTOMAラウンジ 田中美保さんも行うスポーツの為の食事学トークショー 100人参加	A (順調に実施)	・AFM監修担当の開発も実施（つなごうスポーツ大作戦と連携し全国高校IH大会で提供）	・アスリートフードマイスター3級コースの講座開設 ・アスリートフード市民料理教室の開催 ・ゴルファー向けアスリートフードメニューの開発及び提供	
26	既存スポーツ施設の改修	総合政策部 スポーツ推進室	2 力をあわせてスポーツのできる場をつくりまじょう	2-1 安全で快適に利用できるスポーツ施設の整備	既存施設の改修や再整備を進め、施設の有効活用を促進し誰もが利用してみたいと思える魅力ある施設を目指す。	4月29日（金）にとましんスタジアムがオープンし秋には夜間照明も設置。 8月28日に緑ヶ丘公園庭球場がリニューアルオープンし、全コート（20面）が全天候型コートとなった。	A (順調に実施)	・緑ヶ丘公園サッカー場改修に向けて準備	・緑ヶ丘公園サッカー場の2ヵ年改修（H29、H30）	
27	スポーツ施設の一体管理	総合政策部 スポーツ推進室	2 力をあわせてスポーツのできる場をつくりまじょう	2-1 安全で快適に利用できるスポーツ施設の整備	スポーツ施設の効果的・効率的な運営のため指定管理者による一体管理	総合体育館・日吉体育館・川沿公園体育館の一体管理を実施	B (概ね順調に実施)		H30に緑ヶ丘公園施設全体の一体管理を目指す	
28	指定管理者の自主事業の充実	総合政策部 スポーツ推進室	2 力をあわせてスポーツのできる場をつくりまじょう	2-2 民間のスポーツ事業者等と協力してスポーツ参加を促進	市民の心身の健全な発達及び普及振興を図ること、及びスポーツ施設の利用率向上を目的とした指定管理者が実施する事業。	各スポーツ施設において子どもから高齢者までを対象とした事業を展開した。 ※市の行事カレンダーに掲載している。	B (概ね順調に実施)		各スポーツ施設において子どもから高齢者までを対象とした事業を展開する。	
29	苫小牧駒澤大学との連携	総合政策部 スポーツ推進室	2 力をあわせてスポーツのできる場をつくりまじょう	2-2 民間のスポーツ事業者等と協力してスポーツ参加を促進	苫小牧駒澤大学との連携により、大学のスポーツ資源の活用や地域スポーツとの連携を図り、市民のスポーツ参加を推進する。	・6月ウォーキングラリー ・10月28日北海道スポーツ推進委員研究協議会分科会会場として活用 ・とまこまいマラソンハーフスタート地点	A (順調に実施)	・H26、H27に苫小牧市スポーツ推進計画のスポーツ活動実態調査の集計を担当	市民のスポーツ参加に関して苫小牧駒澤大学の協力について協議する。	
30	八地区スポーツフェスティバルへの支援	総合政策部 スポーツ推進室	3 次代をになう青少年のため、地域にも職場にもスポーツの機会をつくりまじょう	3-1 地域や職場等におけるスポーツへの参加を創出	地域で気軽にスポーツに参加できる機会を提供し、住民の自主的な参加による各種スポーツ大会の開催と地域社会の連帯に寄与し、「つよく、明るく、たくましい市民」づくりを目的に実施している。	各八地区への補助（70千円） 八地区スポーツフェスティバルには1,429人が参加。	A (順調に実施)		各地区で実施する各種スポーツ大会等を支援する。	
31	とまこまいマラソン大会の開催	総合政策部 スポーツ推進室	3 次代をになう青少年のため、地域にも職場にもスポーツの機会をつくりまじょう	3-1 地域や職場等におけるスポーツへの参加を創出	3 km、5 km、10 km、ハーフマラソンと北海道内でも数少ない車椅子ハーフマラソンがあり、全国から約2,000名が参加している。	10月9日実施し、2,212人が参加。 ゲストランナーとして、アスリートフードマイスター講師の田中美保が来苫。	A (順調に実施)		全国から約2,000名の参加を予定し10月上旬に開催予定。	
32	氷上スポーツ育成事業	総合政策部 スポーツ推進室	3 次代をになう青少年のため、地域にも職場にもスポーツの機会をつくりまじょう	3-1 地域や職場等におけるスポーツへの参加を創出	幼児期において氷上スポーツの楽しさや親しみを遊びやゲームを通じて体験してもらい、氷上スポーツ人口の底辺拡大と子どもの体力向上を目的とする。	スピードスケート体験教室、スケートエンジョイスクール実施。376人が参加。	B (概ね順調に実施)		スピードスケート体験教室を平成29年度より苫小牧市体育協会へ移管	・エンジョイスクール生については、国際IH交流会内事前試合等のイベントに参加
33	小学生低学年アイスホッケーチャレンジカップ大会の開催	総合政策部 スポーツ推進室	3 次代をになう青少年のため、地域にも職場にもスポーツの機会をつくりまじょう	3-1 地域や職場等におけるスポーツへの参加を創出	小学校低学年（1～4年生）のアイスホッケー交流大会を開催し、アイスホッケーの楽しさ・面白さを子ども達に伝え普及を図ることを目的とする。	1月12日～15日実施。120人が参加。	B (概ね順調に実施)		1月中旬に1～2年生、3～4年生に区分して開催予定。	

苫小牧市スポーツ推進計画施策一覧（平成28年度実績及び平成29年度予定）

※事業の評価 A（順調に実施）B（概ね順調に実施）C（やや遅れて実施）D（未実施）

番号	施策名	担当部課	目標	方針	内容	平成28年度			平成29年度	
						平成28年度実績	事業評価	備考	平成29年度予定	備考
34	町内会スケートリンク経費助成	総合政策部 スポーツ推進室	3次代になう青少年のため、地域にも職場にもスポーツの機会をつくりま	3-1 地域や職場等におけるスポーツへの参加を創出	町内でのスケート振興を図るため、町内会に対してスケートリンク設置経費を補助する。	5町内会に計313,750円の助成。 (1町内会62,750円)	B (概ね順調に実施)		継続して町内会においてスケートリンク設置に係る経費を補助する。	
35	小・中・高校生各種大会遠征費助成金	総合政策部 スポーツ推進室	4世界に活躍できる市民を育てて広く世界の人と手をつなぎましよう	4-1 競技スポーツを支え世界で活躍する選手を育み応援	苫小牧市内の小・中・高校生を対象に、スポーツ振興を目的とした全道・全国大会出場について、その経費の一部を補助する。	・小学生 11団体 3,726,599円助成 ・中学生 23団体 7,025,482円助成 ・高校生 23団体 11,590,000円助成 計57団体 12,342,081円	B (概ね順調に実施)		小・中・高校生の各種全道・全国スポーツ大会出場の際に、遠征費の一部を補助する。	
36	地域スポーツクラブ支援事業	総合政策部 スポーツ推進室	4世界に活躍できる市民を育てて広く世界の人と手をつなぎましよう	4-1 競技スポーツを支え世界で活躍する選手を育み応援	生涯にわたってスポーツを楽しむことのできる「場」を地域につくり、定着させることを支援する。	・セガサミージュニア陸上教室 5月15日 参加者62人 講師：元セガサミー陸上部 2名 ・セガサミージュニア水泳教室 5月28日 参加者48人 講師：糸井 充氏、小長谷 研二氏	C (やや遅れて実施)	・セガサミーホールディングス(株)と協力し、ジュニアスポーツセミナーを開催	・セガサミー陸上教室 5月13日開催予定 ・セガサミー卓球教室 5月21日開催予定	・セガサミーホールディングス(株)と協力し、ジュニアスポーツセミナーを開催
37	国際少年アイスホッケー中学生交流会	総合政策部 スポーツ推進室	4世界に活躍できる市民を育てて広く世界の人と手をつなぎましよう	4-1 競技スポーツを支え世界で活躍する選手を育み応援	カナダのトライシティと本市の中学生がそれぞれの国の文化とスポーツを味わう機会を作ることを目指し、互いの地域で盛んなアイスホッケーを通して競技力向上と普及を図るとともに両国の交流を盛んにすることを目的とする。	3月22日～3月28日の期間で実施。今年度はカナダのウォータールー市へ派遣した。	A (順調に実施)	・トヨタ自動車北海道(株)と協力し事業実施	3月上旬にカナダ選手団が苫小牧市に訪問予定。	・トヨタ自動車北海道(株)と協力し事業実施
38	アイスホッケー競技NTC事業の推進	総合政策部 スポーツ推進室	4世界に活躍できる市民を育てて広く世界の人と手をつなぎましよう	4-1 競技スポーツを支え世界で活躍する選手を育み応援	国際競技力向上のために、ナショナルトレーニングセンター強化拠点指定施設になっている、白鳥王子アイスアリーナのトレーニング環境の整備等を行い、日本のアイスホッケーの競技力向上を図る。	NTC事業を活用し、日本女子アイスホッケー平昌オリンピックの出場が決定した。	A (順調に実施)	・平成20年度より文部科学省(現担当：スポーツ庁)より拠点指定	平昌オリンピックに向けた強化合宿の拠点施設としてトレーニング環境の整備を行う。	・平成20年度より文部科学省(現担当：スポーツ庁)より拠点指定
39	スポーツマスター事業	総合政策部 スポーツ推進室	4世界に活躍できる市民を育てて広く世界の人と手をつなぎましよう	4-1 競技スポーツを支え世界で活躍する選手を育み応援	スポーツの分野において輝かしい活躍をした功績が特に顕著な者に対してその功績と栄誉を称えるとともに、青少年に夢を与え市民スポーツの向上に役立てることを目的とする。	・新たに佐藤久義氏(水泳)がマスターに就任。 ・本間マスターアイスホッケー教室 11月12日実施 参加者23人 ・高澤マスター野球教室 11月25日 参加者49人	B (概ね順調に実施)		スポーツマスターによるスポーツ教室を開催予定。種目未定	
40	王子イーグルスとの協働事業	総合政策部 スポーツ推進室	4世界に活躍できる市民を育てて広く世界の人と手をつなぎましよう	4-1 競技スポーツを支え世界で活躍する選手を育み応援	アイスホッケーの地元企業チームの王子イーグルスとの協働事業を展開し、本市のスポーツ振興及び青少年の健全育成を図るとともに、王子イーグルスへの支援及び応援活動を推進することを目的とする。	4月28日に包括連携協定を締結。アジアリーグホームゲーム16試合には、応援サポーターとして支援。王子イーグルスからも様々なイベントに協力いただいている。	A (順調に実施)		各種スポーツイベントの協力及び王子イーグルスの応援活動を実施する。	
41	スポーツ合宿の誘致活動	総合政策部 スポーツ推進室	4世界に活躍できる市民を育てて広く世界の人と手をつなぎましよう	4-2 スポーツ合宿や大会の誘致を行い、交流や情報発信	苫小牧市大会等誘致推進協議会による合宿誘致活動を推進し、各競技中央団体や企業、大学等を訪問し本市の優位性をPRする。	各競技団体や企業、大学を訪問し合宿誘致活動を実施。 市HPで制度詳細を掲載。	A (順調に実施)	・苫小牧市大会等誘致推進協議会と連携	各競技団体や企業、大学を訪問し合宿誘致活動を実施。道内の高校、大学も訪問し春先の合宿誘致に繋げる。	・苫小牧市大会等誘致推進協議会と連携
42	スポーツ合宿等助成	総合政策部 スポーツ推進室	4世界に活躍できる市民を育てて広く世界の人と手をつなぎましよう	4-2 スポーツ合宿や大会の誘致を行い、交流や情報発信	市外のチーム等が本市のスポーツ施設や宿泊施設を利用して実施するスポーツ合宿等に係る経費を補助する。	計51団体(一般45団体、中央競技団体6団体) 4,256,000円助成	B (概ね順調に実施)	・苫小牧市大会等誘致推進協議会と連携	スポーツ合宿助成制度を広く周知し合宿の誘致を行い、本市で合宿を行う際に補助を行う。 平成29年4月より要項を一部変更し、より多くの人が利用できるように改正した。	・苫小牧市大会等誘致推進協議会と連携
43	全国高等学校選抜アイスホッケー大会の開催	総合政策部 スポーツ推進室	4世界に活躍できる市民を育てて広く世界の人と手をつなぎましよう	4-2 スポーツ合宿や大会の誘致を行い、交流や情報発信	氷上の甲子園として全国高校総体(インターハイ)と並ぶ全国大会を開催し、アイスホッケーの人気を高め競技人口の増加と、観るスポーツ人口を増加させアイスホッケー競技の底辺拡大を図る。	全国から29チーム、選手728名が参加。 観客動員数8,049人	A (順調に実施)		平成29年度で第12回を迎え、全国から29チーム選手約800名の参加を予定し8月1日から6日まで開催される。	
44	全国・全道大会開催誘致活動	総合政策部 スポーツ推進室	4世界に活躍できる市民を育てて広く世界の人と手をつなぎましよう	4-2 スポーツ合宿や大会の誘致を行い、交流や情報発信	本市の魅力を北海道内外に情報発信し、各種スポーツの全国・全道大会の開催を誘致する。	・10月8日 NPGA杯第6回全日本パークゴルフ大会2016実施	B (概ね順調に実施)		<実施予定> ・北海道小学生地区対抗バドミントン選手権 ・北海道大会 ・北海道地区国立工業高等専門学校体育大会 ・陸上競技 ・国体シングルス北海道予選 ・北海道中学校ソフトテニス大会	

苫小牧市スポーツ推進計画施策一覧（平成28年度実績及び平成29年度予定）

【目標・施策一覧】

(目標-施策)	目標	
1-1	市民すべてがスポーツを楽しみましょう	市民のライフステージやそれぞれの適性等に応じたスポーツ活動を推進します。
1-2		スポーツを観る人・支える人などの参加の拡大を推進します。
2-1	力をあわせてスポーツのできる場をつくりましょう	安全で快適に利用できるスポーツ施設の整備を進めます。
2-2		民間のスポーツ事業者等と協力して市民のスポーツ参加を促進します。
3-1	次代をになう青少年のため、地域にも職場にもスポーツの機会をつくりましょう	地域や職場等におけるスポーツへの参加機会の創出を推進します。
4-1	世界に活躍できる市民を育てて広く世界の人と手をつなぎましょう	競技スポーツを支え世界で活躍できる選手を育み応援します。
4-2		スポーツ合宿や大会の誘致を行い、交流や情報発信等の機会をつくります。

【各課集計表】

(目標-施策)	総合政策部 スポーツ推進室	教育部 生涯学習課	健康子ども部 健康支援課	健康子ども部 青少年課	福祉部 総合福祉課	福祉部 障がい福祉課	福祉部 福祉ふれあいセンター	産業経済部 観光振興課	計
1-1	5	1	2	2	1	1	4	-	16
1-2	6	2	-	-	-	-	-	1	9
2-1	2	-	-	-	-	-	-	-	2
2-2	2	-	-	-	-	-	-	-	2
3-1	5	-	-	-	-	-	-	-	5
4-1	6	-	-	-	-	-	-	-	6
4-2	4	-	-	-	-	-	-	-	4
計	30	3	2	2	1	1	4	1	44

【事業評価】

(目標-施策)	A (順調に実施)	B (概ね順調に実施)	C (やや遅れて実施)	D (未実施)
1-1	11	3	-	-
1-2	5	2	1	-
2-1	1	1	-	-
2-2	1	1	-	-
3-1	2	3	-	-
4-1	3	2	1	-
4-2	2	2	-	-
計	25	14	2	0



The 50th anniversary "sports city" Tomakomai, 1966-2016



つなごう スポーツ大作戦

～人と人、苫小牧の未来、次世代を担うこどもたちへ～

1966



スポーツ都市宣言

わたくしたち苫小牧市民はスポーツを愛し、スポーツを通して健康でたくましい心と体をつくり、豊かで明るい都市を築くため次の目標をかかげて、ここに「スポーツ都市」を宣言します。

1. 市民すべてがスポーツを楽しみましょう。
2. 力をあわせてスポーツのできる場をつくりましょう。
3. 次代をになう青少年のため、地域にも職場にもスポーツの機会をつくりましょう。
4. 世界に活躍できる市民を育てて広く世界の人と手をつなぎましょう。

(昭和41年11月12日宣言)

2016



苫小牧市スポーツ都市宣言 50周年記念事業の軌跡

平成28年度





つなごう スポーツ大作戦 ～人と人、苫小牧の未来、次世代を担うこどもたちへ～

50周年記念・関連 実施事業

※()=事業における参加実績等 ※速報値や推計値を含む

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月									
<ul style="list-style-type: none"> ● 4.27 王子イーグルスとの包括連携協定締結式 ● 4.29 とましんスタジアムリニューアルオープン(500人) つなごうスポーツ大作戦「プレーボール宣言」 ● 4.29 北海道日本ハムファイターズ野球教室(150人) ● 5.15 セガサミージュニア陸上教室(62人) ● 5.28 セガサミージュニア水泳教室(48人) ● 6・1～ スポーツフォトコンテスト(169点応募) ● 6・1～ スポーツ施設スタンプラリー(100人) ● 6・18 障がい者スポーツ・レクリエーション「フライングディスク」(50人) ● ウォーキングスタンプラリー【6・7・8・9月 計4回】(延べ318人) ● 7.18 中学駅伝苫小牧大会(60チーム 383人) ● 7.23 障がい者スポーツ交流会「ポッチャ教室」(51人) ● 7.30 アスリートフードマイスターによるトークショー(90人) ● 7.31 サマーラクビーフェスタ(150人) ● 8.2 弁当開発【全国高等学校選抜アイスホッケー大会選手用弁当開発】(721食) ● 8.2～7 JOCジュニアオリンピックカップ 【第11回全国高等学校選抜アイスホッケー大会】(8,842人) ● 8.14 イースタンリーグ公式戦【ファイターズ対ヤクルトスワローズ】(3,026人) ● 8.18 丹羽孝希選手 リオ五輪団体決勝 パブリックビューイング(200人) ● 8.20 大相撲苫小牧場所(3,300人) ● 8.21 ファイターズ応援大使観戦ツアー(80人) ● 8.28 緑ヶ丘公園庭球場リニューアルオープン(150人) ● 8.28 NHKジュニアスポーツパーク(94人) ● 9月 八地区スポーツフェスティバル(1,429人) ● 9.3 市民フロアカーリング大会(36人) ● 9.15 市民スポンジテニス大会(81人) ● 9.22 スポーツ都市宣言50周年記念式典(600人) ● 9.22 丹羽選手祝賀会(300人) ● 9.24 市民ミニバレーボール大会(54人) ● 9.25 丹羽孝希選手卓球教室(200人) ● 9.25 スポーツ×健康 健康フェスタとスポーツ大作戦(71人) 				<ul style="list-style-type: none"> ● 10.1 「つなごう」市民大運動会(1,200人) ● 10.9 とまこまいマラソン大会ゲストランナー招待(2,212人) ● 10.10 ウォーキングフェスティバル兼すこやかロード認定ウォーキング(280人) ● 10.25 第58回北海道スポーツ推進委員研究協議会(481人) ● 10.22～23 WJBL「トヨタ自動車vs.アイシンAW」(1,519人) ● 10～3月 氷上スポーツ育成事業 【スピードスケート体験教室・スケートエンジョイスクール】(376人) ● 11.12～スポーツ×生涯学習【門脇松次郎と苫小牧のスポーツ】(見学者 2,373人) ● 11.12 ヤクルトスワローズ野球教室(150人) ● 11.22 ファイターズ応援大使苫小牧市訪問【陽・高梨選手】(560人) ● 11.27～12.3 IPCアイススレッジホッケー 【世界選手権Bプール】(1,100人) ● 11月 スポーツマスター教室【高澤・本間マスター】(72人) ● 1.4～9 第89回日本学生氷上競技選手権大会(14,069人) ● 1.12～15 Jrアイスホッケーチャレンジカップ(120人) ● 1.21 障がい者スポーツ交流会【車椅子バスケットボール交流会】(47人) ● 2.4～5 とまこまいスケートまつり【ちびっ子スケート競技会・町内会行事】(886人) ● 2.9～2.12 第23回冬季オリンピック競技大会 【女子アイスホッケー最終予選】(10,011人) ● 2.12 市民フロアカーリング大会(87人) ● 2.18 障がい者スポーツ交流会「アイススレッジホッケー交流会」(20人) ● 3.22～28 国際アイスホッケー中学生交流会【カナダ・ウォータールー市】(30人) ● 3.25 スポーツ都市宣言50周年記念 とましんスタジアムモニュメント「光の庭」除幕式(100人) 	<ul style="list-style-type: none"> ・記念事業(18事業) ・ふくし大作戦との共催事業(4事業) ・共催記念事業(5事業) ・他団体主管との共催事業(8事業) ・既存事業(12事業) ・その他関連事業(5事業) 															
						<table border="1"> <tr> <td>総事業数</td> <td>52事業</td> <td>57,548人</td> </tr> <tr> <td>後援(冠)事業数</td> <td>65事業</td> <td>33,216人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>117事業</td> <td>90,764人</td> </tr> </table>						総事業数	52事業	57,548人	後援(冠)事業数	65事業	33,216人	合計	117事業	90,764人
総事業数	52事業	57,548人																		
後援(冠)事業数	65事業	33,216人																		
合計	117事業	90,764人																		





10.1 「つなごう 市民大運動会」



1.21 車椅子バスケットボール交流会



9.25 丹羽孝希選手 卓球教室



8.28 NHKジュニアスポーツパーク

つながった
 スポーツの輪



8.14 イースタンリーグ公式戦



10.10 ウォーキングフェスティバル



7.31 サマラグビーフェスタ



11.27～ IPCアイススレッジホッケー世界選手権





感動をありがとう！

丹羽孝希選手
卓球男子団体銀メダル！



スマイルジャパン
平昌オリンピック出場権獲得！



王子イーグルス
全日本アイスホッケー選手権大会
4年ぶり36回目優勝！



帰山麻衣選手
2017冬季アジア札幌大会
スピードスケート女子5,000M銅メダル！



（４）今後のスケジュールについて

○第９回苫小牧市スポーツ推進審議会 １１月開催予定

⇒ご案内は１０月に送付予定

※次年度以降も年２回の４月、１１月に開催を予定しています。

苫小牧市スポーツ施策についての意見書

委員名： _____

苫小牧市スポーツ施策についてのご意見・ご要望などありましたらお聞かせください。
頂きました意見書につきましては、今後の審議会運営の参考とさせていただきます。

〔意見〕

この様式にこだわらず、様々なご意見お待ちしております。
送付方法は、下記宛てにFAX、郵送、Eメール等でお願ひします。



〈連絡先〉

〒053-8722 苫小牧市旭町4丁目5番6号

苫小牧市総合政策部スポーツ推進室 担当：神保、戸澤

TEL：0144-34-9601 FAX：0144-34-7717

Mail：sports@city.tomakomai.hokkaido.jp